

【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽだより

No.134【HP版】

2013年7月25日発行

特定非営利活動法人 **NPO ぽぽハウス**



発行 特定非営利活動法人

NPO ぽぽハウス

発行責任者 山脇 吟子

住所 〒522-0043 彦根市小泉町 300-9

サンロードビルⅡ 2F



TEL (0749)27-9777

(0749)21-0664

Fax (0749)21-0665

E-mail popohouse@nifty.com

HP <http://www.popo-house.jp/>

居宅介護支援・・・ケアマネージメント

訪問介護事業・・・ヘルパー派遣・行動援護・通院乗降介助

ひろば事業・・・高齢者デイサービス・宅老

児童発達支援事業・放課後等デイサービス

日中一時支援事業(介護型・集団活動プログラム)

キッズルーム・ぽぽキッズくらぶ

「はばたき」・・・児童発達支援事業・放課後等デイサービス

子育て支援事業・・・ハピネスあそびひろば・ぽぽあそび隊

むぎゆむぎゆタイム

彦根市委託事業(すくすく教室・のびのび教室)

彦根市北老人福祉センターハピネスひこね指定管理

車両部・NPO活動部

NPOぽぽハウス設立 15周年

あったかファミリーステーション「ぽぽハウス」

開所 10周年

「ぽぽハウス」の「ぽぽ」は…

たんぽぽの「ぽぽ」

鳩ぽっぽの「ぽぽ」

一步一步の「ぽぽ」

みんなでたのしく夏祭り!!

7月9日、高齢者デイサービスの方とぽぽキッズくらぶ2クラス合同で夏祭りを行いました。おかあさん方が準備した祭りグッズで気分も盛り上がり、みなさん一緒に参加して楽しんでいただきました。



屋台の「わたがし」も好評!



デイサービス お食事会

今年は、はじめてビバシティ彦根の「秀月」にてお食事をいただきました。



ご寄付ありがとうございました

株式会社エムランド様より
飲み物のご寄付をいただきました。
ご厚意に心より感謝いたします。
ありがとうございました。

〈今月の中面〉

- 「はばたき」説明会
- 「電車に乗ってヤンマーミュージアムへ行こう!」
- こんにちは! ボランティアさん!
- すくすく教室 1歳時クラス報告

有資格者(看護師・保健師・歯科衛生士・管理栄養士など)のみならず、
時間と熱意をお貸しください!

「子どものケアアドバイス隊」スタッフ募集!

昨年度に引き続き本年度も滋賀県の「医療福祉を推進する湖東地域協議会」の委託事業として「子育てママのケアカアップ応援事業」を実施いたします。

有資格者のみなさんで「こどものケアアドバイス隊」を編成し、乳幼児の集まる「ひろば」「サロン」などに出かけ、子どものケアについての相談事や体の観察の仕方などの情報を保護者の方へアドバイスしていただければ、と考えています。あなたのご都合のつく時間に活動してみませんか?ご応募お待ちしております。

※活動期間については、2013年8月～2014年3月

主に午前中の活動になります。

※期間中、スタッフミーティングも数回予定しています。

詳しいお問い合わせは NPO 活動部 黒田・大澤まで



「はばたき」新施設見学会

日時:2013年9月1日(日) 13:00～15:00

場所:「はばたき」(彦根市平田町 105-7)

※お問い合わせは本部事務所 Tel(0749)27-9777 まで



編集後記

いよいよ(とうとう?)来ました、暑い夏。今年はすでに、我が家のエアコンは大活躍です。電気代の請求書が怖いのですが、熱中症はそれ以上に怖いのです。夜まで続く蒸し暑さ対策に、シャワー後に涼くなるという「クールローション」なるものを体中に塗りたくり、寝るときには保冷剤を握りしめ…。あと1か月、まだまだ対策考え中です。(P)

「はばたき」説明会

7月15日、現在ぼぼハウスと「はばたき」をご利用されている小学5年生以上の児童の保護者のみなさまを対象として、平田町に建設中の「はばたき」の説明会を行いました。

当日は、施設を新しく建設するにいたった経緯や、新事業所になって変更になる事項等を説明させていただき、また、現在の「はばたき」の活動の様子をスライドで紹介しながら、今後めざしていくところを伝えさせていただきました。

ご出席のみなさまには熱心に聴いていただき、活発なご意見やご質問もいただきました。新しい「はばたき」がみなさまのご理解とご協力をいただきながら、開所へと少しずつ進んでいることを実感する一日となりました。(井口)



電車に乗ってヤンマーミュージアムへ行く！

7月13日土曜日、日中一時支援集団プログラムで中学生6名がヤンマーミュージアムに出かけました。

今回の活動は、子どもたちもはじめて行く場所でしたが、ずっと楽しみにしていたようで、当日の朝の会はみんな元気よく笑顔で始まり、電車を待つホームでも、シャトルバスを待つ間も「どんなところなの?」「なにがあるの?」と楽しそうに話をしていました。



ヤンマーミュージアムに着くと、笑顔で施設に入っていく子、少し緊張して慎重に入館する子も…。でも、ミュージアムの中に入ると、重機の展示機に乗ってみたり、クレーン機に乗って実際に機械を動かしたり、キャラクターのバッチづくりや船の操縦シミュレーションなどの体験にたくさん参加しました。

重機に乗っているときには緊張した顔になっていた子どももいましたが、終わると満足そうな笑顔を見せてくれました。

帰りのバスや電車の中でもみんな元気良く、帰りの会で感想を聞くと「楽しかった!」と大きな声で言ってくれました。当日の天気も心配しましたが雨に降られることもなく無事に活動ができました。

最後になりましたが、彦根ライオンズクラブの会員様にも、当日ボランティアとしてご参加いただきました。ありがとうございました。(スタッフ 尾上)



WELCOME!

😊 こんにちは！ボランティアさん！😊

今月ご紹介するボランティアさんは、「ぼぼキッズクラブ」をはじめ、子どもの事業にかかわってくださっている水谷さんです。インタビューでは、後輩ママへの力強いエールもいただきました。

—ボランティアのきっかけをお聞かせください。

学生時代に保育士の資格は取っていましたが、保育の仕事にはついていませんでした。結婚を機に彦根に来て家業を手伝いながら、義父と義母の介護もしていました。3人の男の子に恵まれましたが、次男がダウン症です。障害を持った子どもの育児も子どもの成長とともにひと段落し、義父母をみると数年経ったとき、子どもやお年寄りにかかわる活動がしたくて…。家業や家事もあるのですが、自分の人生、やりたいことをやってみたいので。

—「ぼぼハウス」の印象はどうか？

この(ひろばの)空間が、一目で全部が見えるのがいいですね。お年寄り子どもも一つの空間に一緒にいて、お手洗いも、子どもたちが一列に並んで順番を待っている、お互い譲り合っている。普段お年寄りと接する機会の少ない子どもたちが、自分のおじいちゃん・おばあちゃんより年上の高齢者さんと出会う機会がある。貴重な経験ですね。

—ボランティアをされて感じたことを教えてください。

私の経験では、障害を持って生まれた子も20歳を過ぎると落ち着いてきます。今、幼い子を育てているお母さんは大変だと思いますが、少しでも前向きに、そしてしんどいとき、疲れた時には支えてもらいましょう。私も大変な時期はあったけれど、今では「この子は宝」と思っています。また、障害を持っている子がクラスに1人いると、周りの子がその子のことを気にかけ、みんなができるまで待ったり、声をかけたりすることでクラス全体の雰囲気よくなります。お母さん同士もつながることで不安が軽くなったり、障害を持つ子への理解が深まる。障害を持つ子のお母さんも、うれしく感じていると思います。これからも子どもたちもお母さんも、支えて包んでいきたいと思っています。

すくすく教室 1歳児クラスより

6月から「すくすく教室 1歳児クラス」がスタートしました。『五感を育む』を大きなテーマに全10回の講座のうち7月で2回の講座が終わりました。

初回は緊張した顔でお母さんのそばにくっついてきた子どもたちも、2回目の講座ではお母さんたちが話を聞く間スタッフやおともだちと一緒にあそぶ様子もみられました。残りの講座でもお母さんと手と手を合わせたり、見つめあったり、触れ合ったりすることを大切にしながら、

スタッフもみなさんと楽しんで参加していきたいと思っています。

今年度もできる限り講座の中で童謡をみんなで歌い、できたらその歌をおうちや車の中などで親子で口ずさんでいただくと嬉しいです。1年間の講座、みなさんと楽しんで素敵な時間にしていきます。(子育て支援部 中居)

